

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	10	家族と共に利用者を支えられるケアプランの実施	アセスメントをもう一度見直し、希望に沿った支援を行えるよう家族を巻き込んだプランを立て、実施する。	・アセスメントの見直し(何気ない声や行動など) ・家族にも協力して頂けるような支援を作り、家族と職員・入居者との関係を深める。	3 か月	
2	23	GHの理念である「自分らしく和やかに今を生きる」ことを支援する為に、「暮らし方の希望」について聞き、対応していきたい。	アセスメントの際、個々がGHに求める希望やどのようにGHで生活をし、最後を迎えたいかなどGHでの方向性を示したい。	・アセスメントの見直し ・早い段階で、本人がどのようにGHで過ごし、どう最期を迎えたいかを聞く事で、今後方向性が外れない支援が行える。	3 か月	
3	45	入浴の希望を聞き入れ、利用者の希望に添える入浴の実施	アセスメント時に入居全員女性になった事もあり、男性職員の対応や配慮などもう一度確認・確立していきたい。	・入浴に関して、男性職員が介助に同行する事をどのように感じておられるかなど、もう一度検討したい。	3 か月	
4	3	GHの広報誌の活用、だんらん新聞の表記をもっと地域から声がかかるような工夫を	だんらん新聞からGHへ立ち寄る機会が増え、又継続して関係を築いていけるようなきっかけになるよう、表現や対応など工夫したい。	・広報誌の呼びかけ欄を、地域の方が返答・連絡しやすいような工夫を行なう。 ・継続して関係を深められるような対応・体制作り	3 か月	
5					か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	☐	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		☐	②利用者へサービス評価について説明した
		☐	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		☐	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他()
2	自己評価の実施	☐	①自己評価を職員全員が実施した
		☐	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		☐	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		☐	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		☐	⑤その他(入居者のアセスメントを再度実施、又その内容についても話し合い、追加し計画に反映した)
3	外部評価(訪問調査当日)	☐	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		☐	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		☐	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	☐	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
			②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		☐	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤その他(②については、9月に行われる家族会にて報告予定)
5	サービス評価の活用	☐	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		☐	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		☐	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		☐	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
			⑤その他(アセスメントや広報紙など、すぐ実践できる事にはすぐ行動した)